

製品名: PTEN ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87022**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:47 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTEN
別名	BZS; DEC; CWS1; GLM2; MHAM; TEP1; MMAC1; PTEN1; 10q23del; PTENbeta
遺伝子 ID	5728
SwissProt ID	P60484
免疫原	ヒト PTEN の組み換えタンパク質

背景

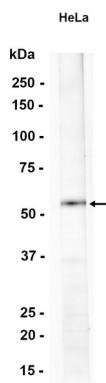
この遺伝子は、多数の癌において高頻度に変異する腫瘍抑制因子として同定されました。この遺伝子によってコードされるタンパク

質は、ホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸 3-ホスファターゼです。テンシン様ドメインに加え、二重特異性タンパク質チロシンホスファターゼに類似した触媒ドメインを有しています。ほとんどのタンパク質チロシンホスファターゼとは異なり、このタンパク質はホスホイノシチド基質を優先的に脱リン酸化します。細胞内のホスファチジルイノシトール-3,4,5-トリスリン酸の細胞内濃度を負に制御し、AKT/PKB シグナル伝達経路を負に制御することで腫瘍抑制因子として機能します。非標準的な (CUG) 上流開始部位を用いることで、ロイシンで翻訳を開始するより長いアイソフォームが生成され、ミトコンドリア内膜に優先的に結合すると考えられています。この長いアイソフォームは、ミトコンドリアにおけるエネルギー代謝の調節に関与している可能性がある。この遺伝子の擬似遺伝子は 9 番染色体上に存在し、選択的スプライシングと複数の翻訳開始コドンの使用により、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 2 月]

研究分野

-

画像データ



PTEN ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。